

(参考)

ツマアカスズメバチについて

1. 生態について

- 原産地：中国、台湾、東南アジア、南アジア
- 日本での定着状況：長崎県対馬（侵入経路は不明）
- 確認時期：平成 24 年 10 月
- 樹木の高い位置に営巣することが多い。主にミツバチなどの昆虫類を捕食する。

2. 懸念される影響

- (1) 生態系に関わる影響：在来種との競合
- (2) 農林水産業に関わる影響：養蜂業への影響
- (3) 人体に関わる被害：刺傷被害

※海外では、韓国やヨーロッパ（フランス、スペイン）で定着が確認されており、飼育されているミツバチや、在来のスズメバチの減少が報告されている。

3. 対応状況について

- 平成 25 年度：環境省では海外文献等から、本種の分布情報等の収集を行い、効果的な防除手法についての専門家へのヒアリングを実施。対馬市では、情報収集および営巣撤去等を実施。
- 平成 26 年度：環境省ではモニタリング、効果的な防除手法の検討や営巣撤去、長崎県では情報収集、補助金による支援、対馬市では情報収集および営巣撤去等を実施し、行政機関で連携し対策を進めているところ。



4. 平成 26 年度に確認された営巣位置図（平成 26 年 4 月から 12 月まで）

